

2011 Japan National Team Report "player"



報告者	クラブB&G 種別 ^{J.O.D.A.} 学年 中学2年 氏名 田中美紗樹		
大会名	IODAヨーロッパ選手権大会2011		
開催地	ホルトガール, マヒウ		
大会期間	7/2 ~ 7/9		
セールNo	JPN 3239	最終順位	26位

気温、水温 ウェアについて	陸は乾火燥し暑かったですが、海は水温が冷たく、風が吹いてると少し寒かったの、海パンにはパッドジャケットという格好で出ました。 でも、水にぬれても水に乾きます。
海面(湖面)の 特徴や風の傾向	レース期間中は大西洋の中からの風が流れたので、低い波が入ってきました。風に対する波もありました。でも、岸が砂浜だったので波は少なく、乗りやすかったです。近くに川があったので、潮の流れがまっすぐ練習で、7-4ポイントがなると、水路から出る波があまりない帰ることもありました。
セッティングで 注意したこと	ずっと同じ風が流れていたの、風に対して、波が少し強かったの、たまたまなようにしました。 前に波を越える水なくなるとはたぬなの、調節がむずかしかったです。
セーリングで 注意したこと	海外では、大きくコースをとれなかったの、その日に、スピードで負けない様にかんはりました。しかし、海外の選手には、スピードとより角度がよい人がいて、その人にはかなり苦戦しました。
海上で練習した こと	海に慣れるためにスピード練習や、重作練習をしました。ニュージーランド、オーストラリアの選手とうヒットでコース練習をしたり、いろいろな国の人たちと、スタートからコース練習をしたりもしました。
実際のスペリは どうでしたか?	すぐ下に船がいてとスバリ負けることもありましたが、言ってもいない時のスバリは勝負できるくらいでした。
スタートは どうでしたか?	12レース中10レースくらいはOCSもありましたが、最後までよくスタートラインをのこることができました。
コース戦略は どうでしたか?	スタートがうまくいくと、長いコースが引けましたが、長い上げものは難かしかったです。 2レース目には順位をおとすことになりました。

自分より上位の選手との違いは？	常に上位にゐること。勝っている時におさえる位置にゐること。 "順位をおとさないこと"です。
国内の練習で役立ったこと	シフトを見るか。 海外の選手は、何も考えずに回りの感じとスピードが"けび"ッ、人びる、という感じのコース取りが"多"かったの"で"。その中"で"アツクを入れることは勇気がいりました。
国内の練習で足りなかったこと	下位からの追い上げ。 日本ではあまり練習し"な"かったの"で"。ここからはし"て"いきたい"で"す。
印象に残った外国選手は？	イタリアの選手。32-7まで"は"悪くても、"め"ざ"と"い"って、い"い"ほど"順位を上げ"て"い"きました。
今後の課題と目標は？	相対順位は取る"せ"ない"と"いう"ぐ"ら"いのコース取りと、下位からの追い上げ"を"か"ん"は"り"たい"で"す。 世界選手権を"も"ら"う"と"い"きたい"で"す。
JODAへの要望	
その他	ありがとう"さ"い"ました。

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会